

日本における牛のアルボウイルス病の発生

発生年	発生地域	発生時期	発生頭数	症状	原因
1949-50 (S21-25)	中国, 近畿, 中部 北陸, 東北	秋～春	不明	流死産, 脳水腫	不明
1959-60 (S34-35)	九州, 中国, 四国 近畿, 東海, 北陸	夏～春	約4,000	流産, 脳奇形, 骨格異常	アカバネ病 (血清疫学)
1972-75 (S47-50)	九州, 中国, 四国 近畿, 東海, 関東 北陸, 東北	夏～春	約42,000	流早死産 関節湾曲症・水無脳症症候群 (AH症候群)	アカバネ病
1979-80 (S54-55)	北関東	秋～春	約3,800	流死産, 奇形	アカバネ病
1982 (S57)	九州	秋	32	嚙下障害	イバラキ病
1985-86 (S60-61)	東北	秋～春	約7,000	死産, AH症候群	アカバネ病
	九州	秋～春	約2,400	水無脳症・小脳形成不全 症候群(HCH症候群)	チュウザン病
1987-88 (S62-63)	九州, 中国, 四国	秋	270	嚙下障害	イバラキ病
1988-89 (S63-H1)	九州(沖縄)	秋(春)	705	発熱, 呼吸促迫	牛流行熱
1995-96 (H7-8)	九州, 中国, 四国 近畿	秋～春	700以上	死産, 関節湾曲症, 水無脳症, 小脳形成不全	アイノウイルス 感染症
1997 (H9)	九州	秋	242 約1,000	嚙下障害 流死産	イバラキ病
1998-99 (H10-11)	北海道を含む全国	夏～春	1,085(確定)	流早死産, AH症候群	アカバネ病
	九州, 中国, 四国 近畿	秋～春	148(確定)	流早死産, 関節湾曲症, 水無脳症, 小脳形成不全	アイノウイルス 感染症
2001(H13)	九州(沖縄)	9-12月	1,404(639戸)	発熱, 呼吸促迫	牛流行熱